

「CONTINUER A P/CONTINUER DE P

-TOPE の枠組みから考察する両者の違い」

梶原久梨子（大阪大学大学院）

事行が続行の段階にあることを表すアスペクト動詞 *continuer* は、後ろに動詞不定詞を従える際、前置詞 *à* を介することもあれば *de* を介することもある。

(1) Le niveau de la Seine continue à monter dans la traverse de Paris. (Le Monde, 18/01/1968)

(2) Les eaux de la plupart des fleuves français ont continué de monter dans la journée de mardi.

(Le Monde, 26/02/1970)

continuer à Inf. と *continuer de Inf.* の使い分けについてはこれまでも論じられてきた。例えば Dolansky(2016)は、*à* は話し言葉で *de* は書き言葉で用いられる印象というインフォーマントの回答を紹介したうえで、両者の違いはニュアンスや文体によるものであり使い分けの基準は曖昧であると述べる。管見の限り、他の先行研究でも *à Inf.* と *de Inf.* それぞれを用いた発話の印象の違いは指摘されているものの、なぜそのような違いが生じるのかということについては未だ明確には説明されていないように思われる。

本発表では *continuer* の語義に潜在的に「非続行」の価値が含まれているということに着目をし、Franckel(1989)が提唱する *instance de localisation* と ISCP (*instance subjective de construction d'un procès*) を援用して発話者が概念上で構築する主観世界と現実が一致するか否かが使い分けの鍵であるということを示す。

Dolansky, J. (2016), "Continuer à / continuer de : Étude diachronique d'une concurrence", *L'information grammaticale n°151*, Paris, 35-41.

Franckel, J.-J. (1989), *Etude de quelques marqueurs aspectuels du français*, Genève, Librairie Droz, 9-61.